

Flamencoauta

フラメンコナウタ

小島章司FLAMENCO2025

2025 **10.26** [日] 開場14:30
開演15:00

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) 1F ホール

入場料: 一般指定席 4,000円
U-25指定席 2,000円

※U-25席は、公演開催日に25歳以下の方が対象となります。
公演当日に25歳以下であることを証明できるもの
(身分証明書など)をご持参ください。
※当日は500円増。(ただし、完売の場合は販売いたしません)
※未就学児は入場・同伴できません。

公演に関する お問い合わせ

■あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
Tel:088-622-8121 E-mail:jigyo@kyoubun.or.jp
■徳島県民文化祭開催委員会事務局(文化振興課内)
Tel:088-621-2552

プレイガイド:

◆あわぎんホール(窓口・電話・WEB)

※電話もしくはインターネットで予約された方は、全国のセブンイレブンの店頭にて24時間
お支払い・お受け取りいただけます。ただし、公演日の2日前までしか予約できません。
※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。
※車いす席及びヒアリングループ対応席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。
※あわぎんホールの休館日は、窓口・電話による販売はありません。

◆チケットぴあ(Pコード:536-788)

※プレイガイドによっては発券手数料が必要となります。
※電子チケット(れすQ)をご希望の方は、あわぎんホール(WEB)でお買い求めください。

主催:徳島県、徳島県民文化祭開催委員会、公益財団法人徳島県文化振興財団

後援:駐日スペイン大使館、インスティトゥ・セルバンテス東京、一般社団法人 日本フラメンコ協会、公益財団法人 スペイン舞踊振興MARUWA財団

Flamenconauta

フラメンコナウタ

Nauta=navegante (船員=船乗り)

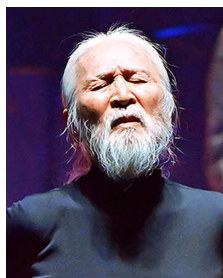
フラメンコの起源はそう古くはない。でもその底流に蓄積された先人たちの創意は限りなく豊かなものとなって形成されて来て今がある。現代フラメンコへの隆盛を築いて来た歴史上の人々の熱意はその神秘と豊かさを今に伝えてきたのである。ピセンテ・エスクデロ、ラ・アルヘンティナ、アントニオ・ルイス・ソレル、アントニオ・ガデス……そして現在。今・現代を生きる私達はあらゆる智を駆使してフラメンコを吸収し表現してきた。

舞踊史に残る興行師ディアギレフもそのレパートリーとする程フラメンコは魅惑の芸術と言える。私の方は1974年(ラス・バルマス・デ・グラン・カナリア)カナリア諸島で踊っていた時「フラメンコは小島章司を通してフラメンコのインターナショナル化が始まっている。」と新聞に報道されたことがある。世界を見渡せば限り無いフラメンコの広がりが見える。どの国へ踊りに行っても熱狂的フラメンコファンに巡り会うことができる。作品『Flamenconauta』は2018年、私達がヘレス市開催のフラメンコフェスティバルで上演したのが始まりである。その作品における経験は、フラメンコの常識を超越したものであり、大きな変化の局面を示すものであった。「世界中からフラメンコに魅せられた人々が集い、密な協力のもと、芸術作品を創り上げたことが記憶に刻まれている。」『それは芸術を通して世界平和と愛を分かち合えた瞬間であった。』

今公演ではその時のメンバーも招聘し、日本で活躍する次代のアーティストにも参加を依頼し、世界の融和とフラメンコの融和が平和に繋がる事を祈念しながら舞台創出へと向かっている。

第一部 むぎこジマフラメンココリウス、むぎっこフラメンコ、小島章司フラメンコ塾(カサ・デ・マデーラ)
ギター:稲津清一／カンテ:嶽北慎二
第二部 Flamenconauta -フラメンコナウタ-

出演者

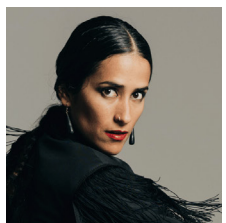


【踊り】小島章司／
高校時代に音楽の道を志し、10年間に亘り励むが、大学入学後目覚めた舞踊の世界により惹かれるようになり、1966年フラメンコ修得の為スペインへ。1976年日本での帰国公演までの10年間はスペイン内外で活動。帰国後はスタジオ開設。フラメンコ活動を展開、高評を得る。公演活動は多岐に亘り、国際的な評価を博している。現在も日・西両国の架け橋としてその重要な場で踊り続けている。2016年ヘレス・デ・ラ・フロンテラ市よりフラメンコ名誉特使に任命される。2024年第11回西日財団賞をマドリードのテアトロ・レアル(カルロスIII)にて受賞。主な受賞歴:芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日重光章、文化功労者。スペインよりは

イサベル女王勲章オフィシャル十字型章、文民功労勲章エンコミエンダ章、アルダルシア州政府顕彰等を受ける。



【音楽監督・ギター】チクエロ／
現代フラメンコシーンでも傑出したギタリストの一人に数えられ、作曲家としても評価の高いファン・イグナシオ・ゴメス「チクエロ」は1968年バルセロナ生まれ。12歳でギターをはじめ、地元のペーニャやフェスティバルなどで活躍後、19歳でタブラオ「カルメン」のギタリストとなり、数々の一流アーティストと共演。後に長年にわたりミゲル・ポベダ、ドゥケンデのギタリストを務め、彼らのアルバムのプロデュースのほか、エンリケ・モレンテやマイテ・マルティン、カルメン・リナーレスらも伴奏。舞踊家ではイスラエル・ガルバンのいくつかの作品の音楽を手掛けて、また1987年より小島章司作品の音楽監督を務めている。

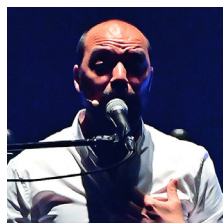


【踊り】カレン・ルゴ／
〈ARTISTA INVITADA〉メキシコ生まれのクリエイティブでパワフルなフラメンコ舞踊家。アルメリアの舞踊コンクールフラメンコ部門優勝、マドリードのスペイン舞踊／フラメンコ振付コンクール3位などを経てヘレスやグラナダでソロ公演。またカルロ

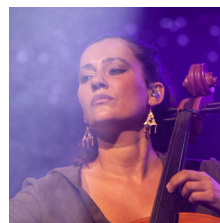
ス・サウラ監督の映画『フラメンコ・フラメンコ』に出演。小島章司とは2018年『フラメンコナウタ』、2020年『ロルカメパッハ』、2023年『トダ・ウナ・ビダ』で共演している。



【カンテ】
ミゲル「エル・ラビ」



【カンテ】
ホアキン・ゴメス「エル・ドゥエンデ」

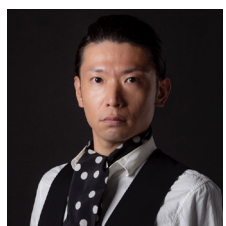


【チェロ】
アルバ・アロ



【パーカッション】
ハコボ・サンチェス

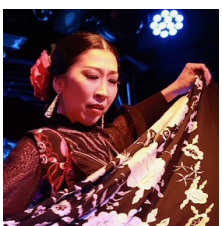
客演



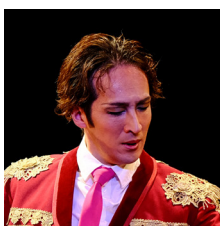
【踊り】小谷野宏司



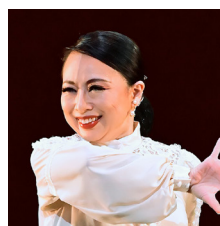
【踊り】Farolito 出水宏輝



【踊り】柳谷歩美



【踊り】松田知也



【踊り】山形志穂



【踊り】鳥阪麗

小島章司フラメンコ舞踊団

徳島県
出演団体



むぎこジマフラメンココリウス



むぎっこフラメンコ



小島章司フラメンコ塾(カサ・デ・マデーラ)

お問い合わせ

あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

徳島市藍場町2丁目14番地
TEL. 088-622-8121 FAX. 088-622-8123
E-mail. jigyo@kyoubun.or.jp
https://www.kyoubun.or.jp
X (旧Twitter) & Instagram: @awaginhall
Facebook: @kyodobunkakaikan



Instagram

徳島県 文化振興課

徳島県のあわ文化公式アカウントです。
徳島ならではの「あわ文化」の魅力や、
イベント情報をお届けします。

